

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・基本理念をフロアーに貼りだし、職員と理念を共有し実践している	利用者の声に、すぐに対応し、気持ちを大切に丁寧な言葉かけで安心していただくこと。ゆったりとした余生を送っていただくよう、管理者と職員は常に話し合い、心がけています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・環境整備の参加 地域の人との交流	自治会に入っており、その一員としてゴミ収集場所の掃除、後片付けに参加しています。近隣の方々が時々来訪してくださっています。一人暮らしの方が泊まって行かれることもあります。	近隣の方々と利用者の交流が増える取り組みに期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・地域の人との交流の際には、認知症とは ・等々話をしている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括支援センター、自治会長、民生委員の方々に意見を頂き、サービス向上に活かしている	自治会の方々と交流を深めています。その折には実情を伝え、アドバイスをいただいています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・高齢者福祉課鈴木様に運営推進会議等に 参加いただきアドバイスを受けている	行政へもパンフレットを持参し、運営・利用者増員のための依頼等、話をしています。	サービス向上にも繋がる、利用者増員の件など、市担当者等との連携・改善の取り組みに期待します。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・玄関は夜間以外オープンにしている ・ベッドの柵越えをする入居者に対しては布団に変え転落防止をはかる等	夜間は防犯上、施錠していますが、ホーム内は全てオープンにして、安全に心がけ常に見守り、付き添いで対応しています。言葉使いにも気をつけています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・個人のモラルをかんがみストレスを溜めず、声がけに努め相互話し合える場をつくる等		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・定例会議を実施し、それについて学ぶ機会を設けている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・重要事項説明書をもって理解納得をはかっている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・家族が面会に来た時に家族や利用者の要望を聞いて代表者に話すようにしている	月に1回家族の訪問があり、その都度要望などは聞き、職員に伝え対応法を話し合い、情報の共有をしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・その都度、細かく電話にて意見を述べたり、指示を仰いでいる ・まとめては、月1回定例会議	毎日のミーティングにより、相互間の問題の取り組みと、利用者への対応をしています。定例会議でも、提案・振り返り等をし合い、運営に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・各職員の得意分野を担当にするなどし、個人の力を生かすようにしている ・福利厚生・フレックスタイム等		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・各職員に合った資格をバックアップしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・小規模部会等の参加 ・各ホーム毎に、施設、現場を開放し集会、話し合っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・本人又は家族に困っている事等を事前に聞き、定例会議の議題に取り上げている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・家族の不安、要望などを詳しく聴きよく話し合うようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・体験入居を事前にし、どんなケアが必要か、どのような事が問題かをチェックしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・一緒に食事を作ったり、おやつ作りをしたり、洗濯物のたたみ方を教えてもらったりする事もある		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族が面会に来た時に、よく昔話を聞かせてもらいケアに役立てている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・月1回の面会 ・家族宛に年賀状を書いて頂く等	家族の月に1回の面会を最大のテーマにしています。 利用者が過ごされていた場所に、時々訪問しますが忘れておられます。	思い出を引き出すような支援にも期待します。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・大広間に集まった時は、ソファに座っている入居者を呼び寄せ、お茶の時間を設けている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・自宅訪問等に努め、本人はもとより家族と連携している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・本人の希望を重視している	利用者の声に、すぐに対応し、気持ちを大切に にした丁寧な言葉かけで安心していただくこと。 ゆったりとした余生を送っていただくよう、 管理者と職員は常に話し合い、心がけています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入浴時間の自由 ・食事時間の自由 ・起床時間の自由 ・就寝時間の自由		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・毎日のバイタルチェック等 ・頻繁な声がけ、ふれあい ・遊びの中に計算やじゃんけん等を取入れている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・月に1回カンファレンス ・面会の際、家族に意見を聞き、今の問題点を考慮したケアプランの作成	問題点は即時に対応し、ケアプランを作成し直し 家族に報告、意見を聞いて対応しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・毎日1, 2時間の勤務重複の折、相談、工夫、実践をしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・車いす対応スロープ ・入浴時ベッド ・リフト(昇降機)設置 ・トイレの手すり等々入居者に合わせて増設している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・近所にある動物園 ・自治会館での行事参加 ・餅つき ・お料理会		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・通院介助 多少遠距離ではあるが、家族希望の入院設備のある病院へ	体調の悪いご家族のために、職員が通院介助をして医師の指示、治療方針、やりとりなど結果は全てをご家族に報告しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・毎日の療養記録に気付いた点を記入し、いつでも情報を伝えられるようにしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・胃腸科、皮膚科等、入居者が具合が悪い時は、かかりつけ医と密に連絡を取り指示を仰いでいる		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・訪問医師等に連絡、調査 ・終末医療のしおり ・家族の同意書	密なるご家族との申し合わせで、重度化の対応も成されています。最期までの話し合いもできています。入院先で亡くなられた方もあり、ご家族本人の意向を支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・鞆にミオコールスプレーを所持 ・発作時の体制プリント救急初期対応訓練実施		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・防災訓練の参加 ・自治会館利用 ・近所の協力	自治会の防災訓練に参加しています。近隣の方々の協力は得られています。平日頃より管理者は自治会の方々、近隣とおつきあいを大切にしています。	ホーム内の訓練や、全職員の意識向上に期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・個々の癖や出来ない事を把握し、さりげなく声がけや対応をしている	利用者の生活歴や癖を全職員が把握し、人格を尊重した対応をしています。	聴力の低下した方への言葉使いや返事の仕方に、分かり易く気持ちが届く話し方を期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・常に本人が今どうして欲しいのかを念頭に接し、聞き出すよう努力している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・本人のペースに合わせ、会話やレクリエーションの時間にしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・洋服を選んで頂いたり、首にマフラーを巻いたり本人の好みを尊重している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・季節の物を取り入れたメニュー ・小さなヤクルトの瓶に飲み物を入れたり、入居者に合わせて工夫している ・その日の体調に合わせて、一緒に片付けをしている	利用者の体調や様子を見ながら、調理に加わっていただき揃って会食をしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・野菜の多いメニューにしている ・おやつ、間食、夜食等で栄養バランスをコントロールしている ・ホットミルク、バナナ等栄養を考えて食して頂いている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後のうがい ・ポリグリップの使用 ・ポリデントの使用		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・排尿しやすい時間にトイレ誘導し、パットの使用量を減らすよう本人説得に努めている	尿意があり、自分でトイレ使用が可能な利用者のため、訴えの度に誘導しています。ペーパーを沢山たぐり、衣類に隠されるため、さり気なく声かけもしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・オリゴ糖、はちみつ、バナナ、ヨーグルト等繊維質の物を食して頂いている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	・本人の体調やお天気に配慮している ・ゆず湯などを楽しんでもらっている	風呂嫌いだった方も、近頃は風呂場の前を通ると入りたくなるほど、楽しみにされています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・起床時間等を特に決めず、個々の生活スタイルを重視している ・寝つきの悪い時は、湯たんぽ等を使用している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・毎日、服用表を記入 ・目的、用法、用量等チェック出来るよう貼布		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・個々の生活力に合わせて役割を決めている(洗濯物をたたむ、カーテンの開閉等) ・好みに合わせたおやつを考えている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・食料品の買い物 ・戸外でのランチタイムやティータイム ・3か月に1回程度ドライブに出かけ外食や温泉足浴等	その日の様子を見ながら、職員と一緒に食料品の買い物に、足湯や時には外食にも出かけています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の時や通院時に本人の希望を尊重している ・細かなお金は、本人に管理してもらっている 		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・家族宛に年賀状 ・居間に電話を設置し、自由に掛けられるようにしてある 		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の花や植物を活けている ・加湿、除湿に十分配慮している ・ダウンライト等の使用 	共用の空間、窓は広くとられています。居間からも出入りできる庭は、自然の木立が見られ、野生化した孔雀が来るのを楽しみにされています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・こたつやソファ等、談話できるスペースづくり ・大きなテーブルで、読書が出来たりと工夫している 		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・布団や湯たんぽ等、本人のお気に入りを使用してもらっている ・ベッドにお気に入りの写真を貼っている 	居室も広く、目毛で使われていた戸棚があります。枕元にはペーパーのたぐった物が数個並べてあり本人希望で入り口、窓にはカーテンがかかっていて、気持ちを落ち着ける取り組みがなされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレへ行く道すじに手すりを設けている等 		